

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月30日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 殿

提出者

住所 長野県長野市平林一丁目36番3号

氏名 大和ハウス工業株式会社 長野支店

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-243-5432

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 長野支店
事業場の所在地	長野県長野市平林一丁目36番3号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	12,353百万
③ 従業員数	145名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	廃プラスチック：処分委託(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 金属：処分委託(切断)⇒埋立処分・リサイクル ガラス・陶磁器：処分委託(破砕)埋立処分・リサイクル がれき：処分委託(破砕)埋立処分・リサイクル 紙くず：委託処分(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 木くず・委託処分(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 繊維くず：委託処分(焼却・破砕)埋立処分・リサイクル

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙3の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず
	排出量	122.94t	177.25t	543.52t	876.85t	20.99t	149.91t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず
	排出量	110.00t	100.00t	489.00t	789.00t	18.00t	134.00t
①現状	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	石綿含有産業廃 棄物			
	排出量	0.60t	72.30t	18.98t			
<p>(これまでに実施した取組) 排出量抑制のために、建設副産物の発生の抑制と再資源化の強化。瓦・ボード等を施工前に、高精度の割付でプレカットする。</p>							
②計画	【今後実施する予定の取組】						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	石綿含有産業廃 棄物			
	排出量	0.50t	6.50t	16.00t			
<p>(今後実施する予定の取組) 前年度同様、施工現場での副産物の発生抑制と、再資源化促進への取組。施工前のプレカットの実施。</p>							

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場担当者が、事業所廃棄物管理責任者から指示された分別基準に従い分別を行う。また現場ごとに、分別区分や種類、方法を作業者に周知し、内容を掲示する。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様、事業所・現場共廃棄物管理を適正に行う為に、事業所廃棄物責任者が、環境・品質パトロールの強化やリスクコンプライアンス診断、解体工事の知識向上のための教育を実施する。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	15.60t	0.85t	15.03t	1.73t	1.31t	17.51t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまで実施した取組) 廃棄物を19品目に分類し、排出1回に対し、重量集計台帳を必ず記入し、1袋13キログラム以下として分別を徹底する。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	13.00t	0.50t	13.00t	1.50t	1.00t	15.00t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 前年度同様、取組を継続して行い、再利用できる物の分別指導を徹底し、再利用率の向上を目指す。							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまで実施した取組)  ※※※※※							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)  ※※※※※							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（令和 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	石綿含有産業廃 棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)								
※※※※※								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理	石綿含有産業廃 棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)								
※※※※※								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール舎	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード舎	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ	紙くず	木くず	
	全処理委託量	107.34t	176.40t	528.49t	875.12t	19.68t	132.40t	
	優良認定処理業者への 優処理委託量	96.75t	176.40t	184.01t	279.60t	16.14t	107.00t	
	再生利用業者への 再処理委託量	107.25t	176.40t	448.50t	875.12t	19.68t	132.40t	
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量							
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	石綿含有産業廃 棄物				
	全処理委託量	0.60t	72.30t	18.98t				
	優良認定処理業者への 優処理委託量	0.60t	72.30t	9.00t				
	再生利用業者への 再処理委託量	0.60t						
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量							
	(これまでに実施した取組)							
	委託締結した廃棄物処理業者と情報交換を行う為、協力関係を構築し連携を深める。また現地調査を行い、書類の管理状況や施設管理状況を確認する。							

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード含)	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ)	紙くず	木くず
全処理委託量	97.00t	99.50t	476.00t	787.50t	17.00t	119.00t
優良認定処理業者への処理委託量	82.45t	99.50t	142.80t	275.45t	14.45t	107.10t
再生利用業者への処理委託量	97.00t	99.50t	404.60t	787.50t	17.00t	119.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	石綿含有産業廃 棄物			
全処理委託量	0.50t	6.50t	16.00t			
優良認定処理業者への処理委託量	0.50t	6.50t	9.60t			
再生利用業者への処理委託量	0.50t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 半年に1回、リサイクル向上につながる処理系統を見直し、解体工事の作業手順等随時確認作業を行う。						
②計画						
※事務処理欄						

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計		
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アスファ)	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物					
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	122.94t	177.25t	543.52t	876.85t	20.99t	149.91t	0.60t	72.30t	18.98t				1,983.34t	
	本年度排出量(計画)	110.00t	100.00t	489.00t	789.00t	18.00t	134.00t	0.50t	6.50t	16.00t				1,663.00t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	15.60t	0.85t	15.03t	1.73t	1.31t	17.51t							52.03t	
	本年度計画(目標)	13.00t	0.50t	13.00t	1.50t	1.00t	15.00t							44.00t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績														
	本年度計画(目標)														
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	107.34t	176.40t	528.49t	875.12t	19.68t	132.40t	0.60t	72.30t	18.98t				1,931.31t
		本年度計画(目標)	97.00t	99.50t	476.00t	787.50t	17.00t	119.00t	0.50t	6.50t	16.00t				1,619.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	96.75t	176.40t	184.01t	279.60t	16.14t	107.00t	0.60t	72.30t	9.00t				941.80t
		本年度計画(目標)	82.45t	99.50t	142.80t	275.45t	14.45t	107.10t	0.50t	6.50t	9.60t				738.35t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	107.25t	176.40t	448.50t	875.12t	19.68t	132.40t	0.60t						1,759.95t
		本年度計画(目標)	97.00t	99.50t	404.60t	787.50t	17.00t	119.00t	0.50t						1,525.10t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													

## 【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。